

令和7年度 事務事業評価シート（１）

〔 令和6年度事務事業 〕

一般会計・特別会計				事務事業分類		A 一般事務事業	
事務事業名		緊急通報システム事業			事業番号		011-055
担当部署名		健康福祉	局	長寿社会	部	長寿支援	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～		施策	(4) 高齢者が住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられる社会の実現	
			有	取組の方向性	⑤高齢者が安心して暮らし続けられる生活環境の整備				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—				
	無		現状値	—			目標値	—	
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—		ターゲット	—	
			無	取組	—				
寄与するKPI		有・無	指標名	—					
	無	現状値	—			目標値	—		
2	関連計画								
3	事業開始年度			平成 9 年度		点検対象年度		令和 7 年度	
4	実施根拠			堺市高齢者緊急通報システム事業実施要綱					

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁、各区		
6	事業の対象	本市の区域内に住所を有しており、①おおむね65歳以上の病弱等の一人暮らし高齢者又は高齢者のみの世帯の方、②昼間または夜間に独居となるおおむね65歳以上の病弱等の高齢者	対象数	単位
			約23万	人
7	事業の目的	急病、事故等の緊急事態への迅速な対応によって高齢者の不安感を解消し、高齢者の在宅生活を支える。		
8	事業内容	【事業内容】 高齢者等宅への緊急通報装置の設置（申請に応じ通年）。 緊急ボタンを押すと消防局に通報され急病等に対応し、相談ボタンを押すと委託業者に通報され健康面の相談等ができる。		
		【実施方法】 緊急ボタンを押下した利用者への対応（消防局、委託業者） 相談ボタンを押下した利用者への対応（委託業者）		
	※国・府の基準より上回って実施した内容			
9	主な支出先	大阪ガスセキュリティサービス株式会社		
10	公民連携・協働事業			

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度
	相談通報件数	件	目標値	—	—	—	—
			実績値	2,962	2,440		
			達成率	—	—		
	当該指標を選定した理由		利用者からの相談通報件数を指標に選定することで、事業実績を把握できるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法		利用者の状況に応じて件数が変動するため、目標設定はなじまない。利用状況の把握のため、相談通報件数を実績値としている。				
12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	設置件数	件	目標値	—	—	—	
			実績値	4,403	4,138		
			達成率	—	—		
	当該指標を選定した理由		装置の設置件数を指標に選定することで、事業実績を把握できるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法		利用者の状況に応じて件数が変動するため、目標設定はなじまない。利用状況の把握のため、設置件数を実績値としている（R7.3末現在設置件数）。				

令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	緊急通報システム事業	事業番号	011-055
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	60,262	63,150	64,292	63,018	66,556
	国支出金	13,967	13,949	14,089	13,700	13,892
	府支出金	6,983	6,975	7,045	6,850	6,946
	市債	0	0	0	0	0
	その他（第1号被保険者保険料）	8,344	8,333	8,416	8,184	8,299
	受益者負担金(使用料、手数料等)	1,147	974	1,146	912	998
	一般財源	29,821	32,919	33,596	33,372	36,421
14	人件費（b）	3,180	3,150	3,110	3,110	3,320
15	年間経費（c）=（a）+（b）	63,442	66,300	67,402	66,128	69,876

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R6	決算				R6	決算		
16	緊急通報システム業務	R7	予算	46,126	16,169		R7	予算		
		R6	決算	17,180	17,180		R6	決算		
	その他備品購入費	R7	予算	0	0		R7	予算		
		R6	決算	74	15		R6	決算		
	通信運搬費	R7	予算	220	42		R7	予算		
		R6	決算	0	0		R6	決算		
	消耗品費	R7	予算	20,210	20,210		R7	予算		
		R6	決算				R6	決算		
		R7	予算				R7	予算		
		R6	決算				R6	決算		
		R7	予算				R7	予算		
		R6	決算				R6	決算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

17	区 分		単位	令和5年度	令和6年度
	①	設置件数	件	4,403	4,138
	②	上記①にかかる年間経費	千円	66,300	66,128
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	15,058	15,981
	算出についての説明等				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	・令和6年度は2,440件の相談を受け、新たに391件の装置を設置した（R7.3月末現在の設置件数は4,138件）。 ・装置の設置完了時に、以下のとおり自己負担金を徴収。 ①所得税非課税世帯：無料 ②課税世帯：8,400円 ※ただし、事業の対象者（項目6）のうち②に該当する方については、上記②に加えて32,000円を負担。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	緊急通報装置の緊急ボタンを押下すると消防局の119番に直通で入電でき、急病等緊急時に迅速に対応することが可能となっている。また、相談ボタンを押すと委託会社のナースコールセンターに繋がりが、看護師や保健師等に健康面の相談をすることができるようになっている。このことから、本事業はひとり暮らし高齢者等の健康面等の不安の解消をはじめ在宅生活を支えることにつながっており、基本計画の取組の方向性である「高齢者が安心して暮らし続けられる生活環境の整備」に合致している。
----	--